



# 市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和7年2月号

507-0814 多治見市市之倉町 10-381

TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

ご挨拶が遅くなりましたが、本年もよろしくお願いたします。

年末はインフルエンザが猛威を振るい心配していましたが、本校では少し落ち着き寒い中でも子供たちは元気に過ごしています。本年度子供たちが登校するのも40日ほどです。よい締めくくりができるよう毎日を大切に、児童と家庭、地域の皆さん、職員の笑顔があふれる市之倉小学校を願っています。

## 自己肯定感

校長

ニュース番組などにより、1月は1年前の能登半島地震や2011年の東日本大震災を振り返る機会が度々あります。そしていまだに続く被災された皆様の苦悩を知るとともに、心より被災地の一刻も早い復旧、そして平穏な生活を取り戻せることを願わずにはられません。

私たちがこうしてごく普通に生活できることは、奇跡と呼べることもかもしれませんし、十分に満足し、感謝すべき日々なのだと再認識させてくれます。

あるPTA開催の講演会で、「子育て」をテーマに講師の先生がこんな話をしてみえました。

「子供が生まれるとき、“なんとか無事に元気に生まれてくれればいい。それ以外望まない。”と願って、そして誕生を喜んだはずだ。笑っただけでも大喜び。しかし、しばらくすると、ハイハイするのはいつかな？ハイハイしたら今度は歩くのはいつだ？早く言葉を発してくれないかな？そしてさらに大きく成長すると、もっと勉強しろ、早く起きろ、散らかすな、ちゃんとしろ、と。できたことよりも、その先を望む。

生まれてきた時の感動や喜び、満足感、幸福感はどこへやら・・・。

時々生まれてくる時の願いを思い出して、今の自分の子を見つめて、「よくここまで成長したな」と頭をなでてやってください。 **またすぐに叱りたくなりますが(笑)**

「今の子供は自己肯定感が低い」と言われて久しいです。市之倉小の子供たちへのアンケートでも低く評価している子が一定数います。自己肯定感とは「ありのままの自分を肯定する感覚」です。

「自分のことが好きで、自分には価値があると思えること」でもあるといわれます。そして子供の自己肯定感周囲の大人によって育まれていくものだと。

年末にも記しましたが、どんなことが分かるようになったのか、どんなことができるようになったのか、できたことを子供たちとともに喜びあうことを大切に、「今のあなたがいい!すてきだ!」と伝え、自分のよさを感じてもらいたいと思います。

私も自分の子供に様々な要求を突きつけている父親の一人です。今の生活に感謝しつつ、自身の見直しも課題です。



森部会の皆様、今年も門松、ありがとうございました!